

第36回 埼玉障害児教育研究集会

2018年
2月3日
SAT.
10:00~16:30
埼玉教育会館
(浦和駅より徒歩10分)

《主催》

埼玉県教職員組合 障害児教育部
埼玉県高等学校教職員組合 障害児教育部
さいたま教育文化研究所 障害児教育研究委員会

【連絡先】

埼玉県高等学校教職員組合 牧野浩

TEL: 048-822-7421

E-mail: makino@sai-kokyo.or.jp

参加費：無料

どなたでも参加できます



全体会

子どもの「困り感・ねがい」から出発する教育

埼玉教育会館2階
10:00~12:00

講師：竹沢清さん

中部学院大学人間福祉学部 非常勤講師
元愛知県障害児学校教諭

記念講演



長年、愛知県の障害児学校で教員をされてきた竹沢先生の具体的な実践から、子どもの内面に寄り添い、子どもの「困り感・ねがい」から出発する教育について学びましょう。

著書：「子どもの真実に出会うとき」、「子どもが見えてくる実践の記録」、「教育実践は子ども発見」…等、多数

分科会

埼玉教育会館
13:15~16:00

【高等部の教育課程】 埼玉教育会館103

特別支援学校2校の高等部の報告と埼玉高教障教部が今年6月にまとめた討議資料「かがやく青春を大切に パート2 ~高等部教育を考える~」をもとに高等部の教育課程について考えます。

レポーター：加村房枝さん（三郷特別支援学校）、森田佳麻里さん（所沢おおぞら特別支援学校）

共同研究者：新井真由美さん（入間わかくさ特別支援学校）

【子どものみかた・とらえかた】 埼玉教育会館104

特別支援学校の小学部や寄宿舎からのレポートをもとに、授業や生活の中で子ども内面をどうとらえ、理解し支援していくのかみんなで考えましょう。

レポーター：田中はる奈さん（坂戸ろう学園）、近藤太郎さん（所沢特別支援学校）

共同研究者：小沢登志江さん（元特別支援学校教諭）

【発達障害】 埼玉教育会館4階

2018年度から試行される高校での通級のモデル校と特別支援学級からのレポートをもとに、特別支援学級と高校との繋がりや高校での通級で大切にしたいことなどを考えます。

レポーター：グラス万里子さん（新座高校）、近藤弘司さん（川口市立戸塚中学校・特別支援学級）

共同研究者：長沢正貴さん（浦和第一女子高校定時制）

【障害児学級の実践】 埼玉教育会館101

障害児学級からのレポートをもとに、子どもの内面に寄り添った授業づくりについて検討し、深めていきます。

レポーター：根岸尚文さん（桶川市立桶川西学校・特別支援学級）

共同研究者：北川祐子さん（元埼玉県特別支援学級教諭）

【障害の重い子の実践】 埼玉教育会館102

肢体不自由と知的障害をあわせもつ障害の重い子どもの実践を通して、発達について学び、授業づくりについて考えます。

レポーター：若山健太さん（川島ひばりが丘特別支援学校）、後藤理勢子さん（越谷特別支援学校）

共同研究者：竹脇真悟さん（宮代特別支援学校）